

第1号様式

(第1面)

開発事業地球温暖化対策計画

事業者の氏名 又は名称	フリガナ 氏 名	フクダ リヒコ 川崎市長 福田 紀彦		
主たる事務所又は 事業所の所在地	郵便番号 住 所	210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地		
開発事業の名称	橘処理センター整備事業			
開発事業を行う 土地の位置及び区域	川崎市高津区新作1丁目1787番地3 他			
開発事業の目的	ごみ焼却場（橘処理センター）の建替え			
工事の着手 予定年月日	平成28年7月1日			
工事の完了 予定年月日	平成34年9月30日			
開発事業の概要	区域面積	約 24,500.00 m ²		
	床面積	約 30,190.00 m ²		
主な予定建築物の内容	棟番号	用途	床面積	備 考
	1	その他（ごみ焼却場）	約30,190.00m ²	
			m ²	
			m ²	
			m ²	
			m ²	
	床 面 積 の 合 計		約30,190.00m ²	

(第2面)

温室効果ガスの排出の抑制等を図るため実施しようとする措置の内容	エネルギーの使用の合理化	・照明には消費電力の少ないLED照明などの使用に努める。 ・人感センサーを導入し、電力の節減に努める。 ・省エネルギー型の設備機器を使用する。 ・高効率発電を行い、施設内での利用や余剰電力の売電を行う。 ・これまで利用されていなかった蒸気を利用したバイナリー発電を行う。 ・隣接する川崎市民プラザに蒸気の供給を行う。 ・太陽光発電や小型風力発電など再生可能エネルギーの導入や、自然光を取入れるスペースを確保する。
	ヒートアイランド現象の緩和	・建物の断熱、緑化、保水性建材の使用、反射率の高い屋根材、壁材の使用に努める。 ・省エネルギー型の設備機器を導入し、エネルギー消費の削減により人工排熱の削減を図る。
	交通環境への配慮	・工事用車両等が集中しないように工程等の管理や配車の計画を行うとともに、アイドリングストップ等のエコドライブを指導する。 ・収集車等の関連車両は、アイドリングストップ等のエコドライブを徹底する。
	緑地の保全と緑化の推進	・現状の地盤を植栽基盤として使用する場合、必要に応じて土壌改良を行う。 ・樹木の維持管理計画を定め、適切な措置を実施することにより、樹木等の健全な育成を図る。 ・川崎市民プラザや子母口宿河原線の街路樹等の周辺環境との連続性に配慮し、緑の回復育成を図る。
	工事に係る配慮	・可能な限り最新の排出ガス対策型建設機械を使用する。 ・建設機械の集中稼働を避け、効率的な稼働を行う。 ・不要なアイドリングや空ふかしをしないよう指導する。 ・工事用車両が特定の日または時間帯に集中しないよう、計画的な運行管理を行う。 ・建設資材について、極力再生品を採用し、資源の有効利用の推進を図る。
	その他	・雨水を貯留し、緑地への散水に用いるなど資源の有効活用を図る。 ・川崎市グリーン購入推進方針に基づき、環境物品等の購入を行う。
再生可能エネルギー源の利用	検討結果	☒ 導入する ☐ 導入しない
	導入機器	・太陽光発電設備（屋上設置） ・小型風力発電（一部の屋外照明用電源）

(第3面)

特 定 建 築 物 の 評 価 の 目 標	棟番号	評価の目標
	1	総合評価 A 以上
備 考		

- 備考 1 用途の欄は、次から当該予定建築物の主たる用途を記入してください。
[事務所／学校／物販店／飲食店／集会所／工場／病院／ホテル／住宅／その他]
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 特定建築物の評価の目標については、予定建築物が川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例（平成 11 年 川崎市条例第 50 号）第 127 条の 4 第 1 項の特定建築物に該当する場合、同項第 5 号に規定する環境性能の評価の目標について記載してください。